

コミュニティ壬生野 第34号

壬生野地域まちづくり協議会広報

2008（平成20）年2月1日発行

協議会役員会より

1月9日第4回の役員会を開催しました。当役員会は、幹事（各区長、山岸会代表）と本部役員事務局の15名で行なわれています。壬生野地域まちづくり協議会の主たる推進計画を話し合い、運営委員会の会議を経て具体化していきます。

今回は、当面の地域防災実行委員会事項、「青色回転灯装備車両」賃貸借契約、平成19年度補正予算等について話し合いました。

議題には、ありませんでしたが、来年度の役員選考について事務局長より提示がありました。規約の第14条4項「選考委員は壬生野地域の区長（若しくは代表者）とする」とあります、そこで、当役員会の幹事の、各区長、山岸会代表の方々に次期役員を選考委員をお願いしました。意見として、各区分は、来年度の区の組織作り、引継ぎの時期でもあり、今年度中では十分に選考することができないのではという意見や、選考委員を区長というのではなく、別の人を選んではということも出されました。が、今年度は規約のとおり、区長さん方で選考を進めてもらうことになりました。



防災対策実行委員会より

防災講演会のご案内

日時、2月5日午後7時30分より

場所、壬生野小学校ランチルーム（東棟）で

講師、災害ボランティア鈴鹿理事長 南部美智代さん

演題 「向こう三軒両隣、みんなで助け合うために」

多数のご参加をお待ちしています。

阪神大震災は、13年前の1月17日午前5時46分発生、6434人のとうとい命が奪われました。今日まで神戸市のボランティア団体により、その災害の悲惨さや災害について考える集いが、震災のあった日に焦点を合わせて開催されています。私たちは、そんな災害など自分たちの地域では発生しないのではないかと思いがちですが、日本中どこで勃発しても不思議でないというのが現状だそうです。

コミュニティ壬生野33号及び回覧「防災講演会のご案内」でもお知らせしましたように、壬生野地域まちづくり協議会では2月5日第2回防災講演会を開催します。今回は、被災地での現場で実践されたお話です。

長島愛生園訪問研修よりV

長島愛生園訪問研修について、先月号に引き続き、参加者の感想を紹介します。

平成15年、熊本の温泉地のホテルがハンセン病療養所入所者の宿泊を拒否したニュースで初めてハンセン病という言葉を知りました。今回愛生園を訪問するにあたり事前研修でハンセン病の歴史を学び法の上においても長い間人権侵害ともいえる政策が行われていた事を知りました。園へ向かう車中ビデオで当時の現状が映し出されました。家族にらい病の患者が出たら強制隔離され、誤った政策によりその家族も社会から阻外され偏見と差別を受けなければならないのです。家庭は崩壊し病気の苦しみ以上に、人間としての扱いをされない現状におかれた人々の想像を絶する苦しみを映し出していました。

入園されている方の話の中で「本人も辛いが残された家族も大変辛い思いをしている」と言われていたが、この言葉だけでは言い尽くせない過去があること、近年やっとその事を口に出せるようになったこと、そうなるまでの心の軌跡をたどると計り知れないものがあります。ハンセン病を正しく理解し、まわりの人に伝えて偏見や差別を無くしていくことが必要だと思いました。(和田弥生)

研修の概要

開催日：9月24日 参加者：23名

目的：ハンセン病患者に対する過去の誤った隔離政策やハンセン病に対する根強い偏見が今も残っていることを知るとともに、様々な人権問題に触れ、自分の差別意識を見直し、壬生野地域の啓発につなげていきます。

企画：人権同和合同委員会

がんばれ 壬生野サッカースクール

毎週土・日曜日の午前中、壬生野小学校グラウンドで、元気にサッカーをしている子どもたちをご存知ですか？壬生野サッカースクールの子どもたちです。

このスクールは、小学校1～6年生の児童を対象に「サッカーの正しい技術を伝え、あわせて望ましい仲間づくりと健全な心身の発達を促す。」ことを目的としています。選手の強化ではなく、サッカーを楽しむことを主としており、性別、体力、技術による入校制限はしていません。

先日、親子サッカー大会を開催し、親子でサッカーを楽しみました。



伊賀エンジェルススポーツ少年団 (いがまち少年野球教室)



伊賀エンジェルスは、旧伊賀町内3つの小学校(壬生野・西柘植・柘植)の1年生～6年生の児童を対象に山畑区民グラウンドを中心にお借りして、毎週土・日曜日に活動しています。

土曜日は、野球の基本的な練習をしています。

日曜日は、練習試合などを通じて、技術的な面、精神的な面、チームワークなど団体競技で大切な事を学んでいます。練習のたびに、子どもたちが成長していくの楽しみに、保護者会、指導者がひとつになり活動しています。

これからも、野球を通じて、青少年健全育成を目標に活動していきたいです。

ヤマギシだより — イチゴ狩りのご案内 —

ハウスの中でイチゴが赤く色づいてきました。2月からイチゴ狩りを始めます。

昨年夏からイチゴの担当になった出原和子さんにお話を聞きました。

「最初は親株からランナー(苗)を取ることから始めました。苗が株になり、きれいな白い花が咲く頃は、受粉のために放したマルハナバチがぶんぶん飛んでいて、とってもかわいかったですよ。小さなイチゴの実ができて、大きくなってどんどん色づいて、今、ハウスの中は甘いイチゴの香りです。皆さん、来て下さいね。」

和子さんは長年『鶏のお母さん』としてひよこや鶏のお世話をしてきた人で、そう語るやさしいまなざしはイチゴの成長を見守っている『イチゴのお母さん』のようでした。皆さんのおいでを和子さんと一緒にお待ちしています。

| | | |
|----|---------------------|-------|
| 内容 | 30分食べ放題 | |
| | 持ち帰りは別料金になります | |
| 費用 | 大人(中学生以上) | 1500円 |
| | 子供(3才以上)とシニア(65才以上) | 1300円 |
| 品種 | 紅ほっぺ、章姫(あきひめ) | |

3日前までに予約してください。(予約・問合せは45-2531まで)
野菜直売所にて販売もしています。

区だより == 池の堤の草刈と草焼き ==

それぞれの地区では、年間、何回かの区民総出での出合い仕事があると思います。写真は、1月13日行なわれた川西地区の池の堤の草刈、草焼きの活動の様子です。この日は、この冬にない雪のちらつく寒い日でした。それでも、草を刈り終わった時には、なにかすっきりしてほっとした気持ちになりました。そして、後の、草焼きは、うまく燃え出しますと暖も、談も、取れるひと時となりました。

また、草刈をしながら、思い出したのは、小学生のころ、この堤でワラビ採りをしたことでした。少し暖かい時期になると、焼き草の間からたくましくワラビが顔を出し、みるみる大きくなっていきました。ちょうど大きいのいいころのワラビを、短時間の間にたくさん採ったものでした。もう一つは、池で魚釣りをした思い出でした。魚釣りといってもしほりのある竹の先から釣り糸をつるし、釣針にミミズをつけて池の端っこで釣るだけのものでした。たまたま、フナが釣れた時などは、いい気持ちになったものでした。また、池にはカイツブリがよく来ていました。ぽかぽかと浮いているのを見ながら、「カイツ、カイツつぽん」と言って、タイミングよくカイツブリが水の中にもぐった時など喜んだものでした。今、思いますと池の周りは小さいころの私たちの遊び場でもありました。(川西一区民)



お知らせ(壬生の里より)

昨年末、壬生の里、機能訓練室に新しい健康器具が入りました。

西之澤地内で会社を^{デラックス}経営しておられる谷山智皓様から寄贈されました。身体固定式全身指圧・温熱治療機「スリーローラーDX」という機械です。

健康維持、介護予防にぜひご利用下さい

(9:00~17:00)

くつろぎのひとときをご一緒に!

谷山様ありがとうございます。

みんなで大切にに使わせていただきます。

効能・効果

疲労回復・血行をよくする・筋肉の疲れをとる・
筋肉のこりをほぐす・神経痛・筋肉痛の緩解・胃腸の働きを活発にする。



ときめきサロン

土曜日の午前中は、まちづくり協議会の事務所(壬生の里 2階)へお出かけ下さい。

図書貸し出しをします。お茶やコーヒーを飲みながら、楽しくおしゃべりなどもしませんか。是非、子どもさんも一緒に“くつろぎの場”としてご利用下さい。

2月のお世話をさせて頂く担当者は、下記の通りです。
(8:30~12:00)

| | |
|--------|-----------------|
| 2日(土) | 岸幸雄 北出佳子 上林健作 |
| 9日(土) | 福森晋 五百田佳子 五百田正一 |
| 16日(土) | 亀井亮治 松村幸世 福岡光義 |
| 23日(土) | 森川幸生 福森和子 三根久美子 |

編集後記



今年の元日の日の出は輝かしいものでした。布引山地の東南東の澄みきった空の山の稜線が輝くように明るくなり、まばゆい光を放ちながらお日様がでてきました。それだけに感動的な気持ちになりました。輝く光を見ながら、おもわず、何事においても、輝やく一年であってほしいと願ってしまいました。

私たちは、まちづくり協議会の広報公聴実行委員を承り10ヶ月になりました。できる限り、本協議会の取り組んでいることを中心にしながら壬生野地域の出来事もお知らせしようとしてきました。そこで、私たち広報委員会の願いを一言で表しますと、「会」ということになるのでしょうか。「会」は、あう、であう、あつまる、あつまり、ぴったりする、などの

意味に使われています。広報委員会は、「会」なしでは全うできないので、その言葉を選んでみました。

(平地章昌)

◇◇◇ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◇◇◇

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会

事務局 三重県伊賀市川東 1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内

Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL <http://www.mibuno.net>